

Vol. 23

令和3年  
4月発行

久留米広域

# 消防だより



地震で倒壊したマンション(熊本地震)



消防ヘリでの救助活動 大阪市消防局 提供

## 自然災害発生 その時、消防は…



車両で進入できない現場へ救出に向かう  
(平成29年7月九州北部豪雨)



大阪市消防局 提供

瓦礫の中を検索(東日本大震災)



土砂崩れに巻き込まれた家屋で検索(令和2年7月豪雨)

# 毎年のように発生する豪雨被害

福岡県では、平成29年から令和2年まで4年連続で大  
雨特別警報が発表されており、県内各地で豪雨被害が  
発生しています。

久留米広域消防本部管内(久留米市、大川市、小郡市、  
うきは市、大刀洗町、大木町)でも、近年、毎年のように豪  
雨被害が発生しており、自然災害での救助件数が平成  
30年以降、事故種別の上位にランクインしています。

## 過去5年間の救助出動件数と自然災害での救助件数

年	救助出動件数	自然災害での救助	
		件数	割合
令和2年	305件	88件	28.9%
平成31年/令和元年	235件	29件	12.3%
平成30年	399件	182件	45.6%
平成29年	191件	2件	1.0%
平成28年	152件	1件	0.7%



「令和2年7月豪雨」では、管内各地で冠水被害が発生した  
【写真:大刀洗町 大堰小学校付近】



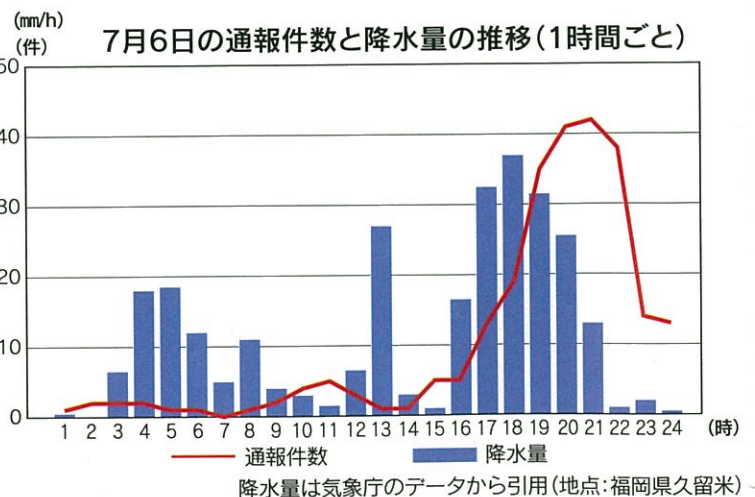
通報内容を聴取し、出動隊を選定する指令センター員

## 多数の出動要請

自然災害発生時は、非常に多くの119番通報があります。下  
のグラフは、近年で最も自然災害での救助出動が多かった  
「平成30年7月豪雨」の7月6日における、当消防本部管内の1  
時間ごとの通報件数と降水量の推移です。最も多い時間帯で  
は、1時間に40件を超える通報が寄せられています。

降水量と照らし合わせると、降水量が多くなった後に通報  
件数が増えていることが分かります。

「平成30年7月豪雨」の救助出動件数は182件で、冠水し  
て避難ができない427人をボートを使ったり背負ったりして  
救出しました。



## より多くの災害現場へ

当消防本部は、職員429人、消防車両81台※  
の消防力を有しています。

大規模災害発生時は、全ての職員を呼び出  
し、119番通報の受信や災害事案に応じた現  
場活動を行います。1つでも多くの事案に対  
応できる体制をとり、災害出動に備えますが、災  
害の規模が消防力を上回る場合、全ての119  
番通報に対して迅速に駆け付けられないこと  
があります。

※赤色灯を装備している車両(救急車を含む)

## 命を守るため、早めの避難を

災害から命を守るためには、危険な場所や地域の特性を事前に把握しておき、いざとい  
う時にどのような避難行動をとればよいかを日頃から考えておくことが大切です。

また、台風の接近や大雨が予想される場合には、市町などの自治体が発表する避難情報  
に注意し、早めに避難してください。



# 大規模災害発生時は 全国から集結

被災地を管轄する消防本部だけでは対応が困難な場合、他の消防本部から応援出動する体制が構築されています。

## 福岡県内消防相互応援

被災した市町村の要請を受け、福岡県内の消防本部が応援に駆け付けます。

当消防本部管内で大規模災害が発生した場合、県内の23消防本部から消火隊や救急隊、救助隊など最大58隊が駆け付けるようになっています。

当消防本部も「平成24年7月九州北部豪雨」では八女市に、「平成29年7月九州北部豪雨」では朝倉市に応援出動しました。

## 緊急消防援助隊

被災した都道府県の要請を受け、他の都道府県の消防隊や航空隊が応援に駆け付けます。この応援隊が「緊急消防援助隊」であり、県域を越えた消火・救助等の活動を実施します。

緊急消防援助隊は、全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、阪神・淡路大震災を教訓に平成7年6月に創設されました。令和2年4月時点における全国の登録数は、723消防本部6,441隊です。



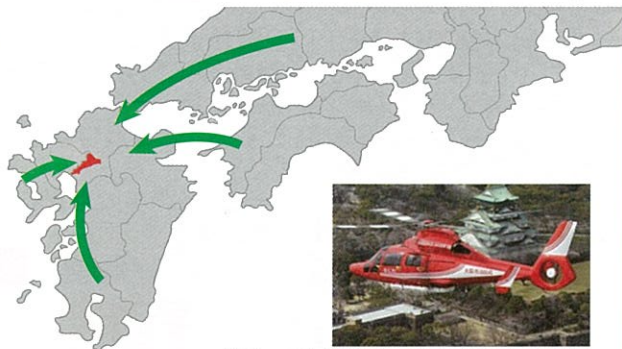
名古屋市消防局提供  
応援隊が被災地に向けて出動

登録隊には、消火隊・救助隊・救急隊だけでなく、消防ヘリコプターや、地震・土砂災害に対応する専門部隊も含まれます。

当消防本部では、令和2年4月時点で指揮隊や救助隊、救急隊など16隊を登録しており、これまでに「東日本大震災」(宮城県)や「熊本地震」(熊本県)、「平成30年7月豪雨」(広島県)、「令和2年7月豪雨」(熊本県)に応援出動しました。



「平成29年7月九州北部豪雨」当消防本部から朝倉市へ応援出動



消防ヘリも被災地へ(大阪市消防局提供)



大阪消防局提供  
応援隊による要救助者の検索活動



救急防災課 森永 聡一郎

## 1人でも多く救助するために

私は、これまで緊急消防援助隊として2度出動しました。「熊本地震」では、救助隊として出動。助けを求めている人のためにという使命感を胸に活動を開始しました。逃げ遅れた人がいないか検索活動を行いました。余震が続いていることもあり、活動が思うように進められず悔しい思いをしました。幸いにも私たちが活動した地域では逃げ遅れた人はいませんでしたが、活動を通して改めて自然の脅威を感じ、更なるレベルアップが必要だと痛感しました。



運動広場に設営された活動拠点

## 活動隊の支援も重要な任務

「令和2年7月豪雨」では、後方支援隊として熊本県南部に出動しました。後方支援隊は、現場対応を行う活動隊の食事の準備や宿営地の調整等を行います。応援隊は、食事や宿泊などのすべてを自己完結で行うため、食料をはじめ、発電機、簡易トイレ、寝袋などの物資を持参し、テントで野営します。野営を行う活動拠点には広いスペースが必要のため、運動広場や大きな公園などを使用します。

# 消防職員採用試験が変わります

令和3年度の採用試験から、年齢で募集区分を設けて2回実施します。募集区分や日程は次のとおりです。

募集区分	受験が可能な年齢	試験案内 申込書記付開始	第1次試験日	第2次試験日	最終合格発表
消防職A	平成7年4月2日以降、 平成12年4月1日までに生まれた人	令和3年5月1日(土)	令和3年6月20日(日)	令和3年7月下旬 令和3年8月中下旬	令和3年9月中旬
消防職B	平成12年4月2日以降、 平成16年4月1日までに生まれた人	令和3年8月1日(日)	令和3年10月17日(日)	令和3年11月下旬	令和3年12月中下旬

試験案内は、消防本部のウェブサイトに掲載します。また、消防本部、消防署、出張所及び構成市町の庁舎の総合案内にも用意します。

受験資格、採用予定人員、試験内容等の詳細は、試験案内で必ず確認をしてください。

## インターネットで119～音声通報が困難な人のために～

当消防本部では、NET119緊急通報システム(略称「NET119」)を令和3年3月15日から運用しています。NET119は、聴覚や発語機能等に障がいがあり、音声での119番通報が困難な人を対象とした「緊急通報システム」です。スマートフォンや携帯電話のインターネット機能を使って簡単に119番通報ができます。

NET119は事前登録制です。対象者及び申請方法を確認し、登録してください。詳しくは、下のQRコードを読み取って案内ページをご覧ください。

また、NET119を必要とする家族や友人などに利用を勧めてください。



※「Web119 緊急通報システム」は、令和3年3月31日にサービスが終了しました。「NET119」に登録してください。

## ご寄贈いただきました

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 福德長酒類株式会社様から

#### 消毒用アルコール

令和2年5月28日

新型コロナウイルス感染拡大の影響で消毒用アルコールが不足する中、自社製品のアルコールをご寄贈いただきました。救急活動後の救急用資器材の消毒用として、使用しています。



### 久留米市防災協会連合会様から

#### ポータブルアイソレータ

令和2年8月5日

設立60周年を記念し「感染症対策搬送機材(ポータブルアイソレータ)」をご寄贈いただきました。救急搬送時に救急隊員が新型コロナウイルス等に感染することを防ぐために使用しています。



### 株式会社シグナル様から

#### 衛生用品(マスク・タオル)

令和2年8月18日

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクやタオルをご寄贈いただきました。庁舎内での職員間の感染防止などに活用しています。



### 日商保険コンサルティング株式会社様から

#### 消防音楽隊用制服

令和3年3月12日

創業100周年を記念し「消防音楽隊用制服」をご寄贈いただきました。制服を一新したことで、より素敵な演奏をお届けできるよう努めていきます。

